

竹馬会情報紙

はずみ



竹馬会キャラクター
なべムシ君

島根県平田市「第2回泥田バレーボール大会」特集



アクアス(海洋館)前で

島根県平田市の和田青年会主催の「第2回泥田バレーボール大会」が八月二十日開催された。竹馬会も昨年に引き続き交流に出かけた。選手団六名を含む総勢十五名が、前日の十九日午前六時佐知を出発、一路島根県へと向かった。

中国自動車道から浜田自動車道を経て、山陰に抜け島根県浜田市に午前十一時に到着。五月にオープンしたばかりという、中四国最大級の水族館「アクアス」に立ち寄った。

一五〇〇円の入場料に戸惑ったが、二〇名以上の団体割引を利用する作戦に出て、アベック一組、子ども連れの四人家族を入り口でゲット。二十一人の団体が二割引で入場に成功。一時間程の見学をした。



アクアス=水族館

平田市に着く前に出雲市の「島根ワイナリー」でワインの試飲で口を湿らし、和田青年会のメンバーが待つ泥田バレー会場へ到着。三光村を出てから十時間後の午後四時。



サンドミュージアム(中には世界最大の1年計砂時計)

アクアスを出て、国道9号を平田市へ向かう。途中、昼食をしたレストランの前が、「砂時計博物館」。入場料七〇〇円は高く、外から眺めることにする。

交流会は総勢七十名

一時間ほど会場の準備状況を見てから、宿泊先の民宿で一休み。

午後七時から泥田バレーの会場となる田んぼにテントを張つての交流会。三光村から鮎やネットを持って行ったが、先方は海の町。隣町の漁師の方が、この日のために採ってくれたという、サザエやイカなどの海の幸がたっぷり。



乾杯

交流会には、この泥田バレーが縁で和田青年会と知り得たという平田市内の他のグループも参加し、竹馬会を含めてその数は七十名の盛大なものになった。

次の日があるので、午後九時三十分を終了、解散。

五十一チームが参加

竹馬会も予選から参加

第2回大会にして五十一チームが参加し、盛り上がった大会となった。和田青年会の川瀬会長、平田市長、元市議の顧問が挨拶で三光村の竹馬会を紹介。この大会が開催されるのも竹馬会あつてのこと。

竹馬会も予選リーグから参加。選手団は川西浩司、佐藤恒通、渡辺勝樹、高畑智秀、黒沢周司、そして、三光ファームからの助っ人宮本浩光の6選手。

予選2試合を戦って2勝0敗。決勝トーナメント進出となったが、試合開始が午後二時となるため、次点のチームに譲って帰路に着くことに。



6人の選手団



試合の様様

午後二時、平田市を出発。来た道を三光村へと向かい、途中、選手団と共に温泉に入る。

高速道路で2回の休憩で、小倉東には午後九時、夕食を取って、佐知には午後十一時の帰宅。マイクロボスで八時間程の旅、運転手、選手団はもちろん、全員疲れましたが、事故も無く、全員無事で何よりでした。